

主催者挨拶

株式会社東京証券取引所 金融リテラシーサポート部長 増田 剛

本日はお忙しい中「先生のための冬休み経済セミナー」のご視聴、ありがとうございます。今年で7回目になりますが、今回初めてオンラインで開催しています。従来は、東京証券取引所（以下「東証」）へお越しいただいていたのですが、オンラインによって、今まで参加できなかった先生方にも聞いていただけるチャンスになっているのではないかと捉えています。

昨年のセミナーでは、経済ニュースを理解するにはどうすればいいのか、そのヒントをいただいたり、私たちが生きる社会の変化を踏まえ、これから生きるために大切なものは何か、ご提案いただいたりしました。

本日も2名の専門家にご登壇いただきます。日本経済新聞社・鈴木様には、時事解説をしていただきます。証券部記者などのご経験からの、解説や展望にご期待ください。また、名古屋市立大学大学院・横山先生には、金融経済を授業で教える際の工夫を提案いただきます。教員免許更新講習を長くご担当された経験からのトークライブ、楽しみにしててください。

2020年は誰もが予想していなかった、新型コロナウイルス感染症という事態に見舞われ、個々人の働く環境を含めた生活様式が、大きく変化せざるを得ませんでした。とりわけ、学校教育では休校や長期休暇の調整、感染対策を講じた上での授業など、幅広く多くの対応をされているのを伺っていました。

その中でも、コロナ禍を題材とする授業や、3密を回避しながらの授業工夫など、子供たちの主体性や可能性を引き出す授業を続けていらっしゃる先生方の姿に、我々も刺激を受けています。

東証も子供たちや先生方へ、金融経済の学びを引き続き提供したく、取り組んでいます。現在、学校への出前授業はオンラインで行っています。画面越しから子供たちや先生方の真剣な眼差しや笑顔を見ることができ、場所を問わず全国各地の学校と繋がることに、期待も増しています。

まだまだ不安が増すコロナ禍での金融経済教育は、オンラインが中心となるかもしれませんが、東証が教育活動へ取り組む目的は変わりません。金融経済の立場から豊かな社会の実現に貢献することを使命に活動しています。

先生方へのプログラムも、手段を工夫しながら続けて参りますし、先生方の要望や知恵をいただきながら、より良い企画の開催に繋げていきたいと思っております。今後とも、東証の金融経済教育へのご協力のほど、よろしく願いいたします。